

NOW 市政の動き・自分史

city government now 一宮市政報告新聞

一宮市議会議員 岡本将嗣

一宮市議会
3月定例議会
2月26日開会、3月23日閉会



令和8年度 基本姿勢

ここ数年続いている物価高騰は、今もつて収まる気配がありません。国際情勢も不安定さが増す中で、今後もその傾向は続くと考えられます。

国内では、昨年1月の埼玉県八潮市の道路陥没事故をはじめ、インフラの老朽化による事故が多発しています。自然災害も「数十年に1回」と例えられるような規模のものが、毎年のように発生しています。われわれ基礎自治体を取り巻く環境は厳しさが増す一方です。そんな中でも、地域経済を進展させ、市民一人一人が心身ともに満たされ、幸福を実感できる都市、持続可能な一宮市を構築していかねばなりません。10年先を見越して、これから着

手が見込まれる大規模事業を洗い出し、費用の見込みを調査したところ、財政負担の結果は予想を上回る厳しいものとなりました。今後の社会情勢の変化も考慮し、規模や手法など、創意工夫による抜本的な見直しを行ってまいります。

新たな時代にふさわしい行政としては、DX(デジタル・トランスフォーメーション)、デジタルを活用した業務改革を引き続き推進します。昨年は、生成AIの進捗が社会生活のあり方を大きく変えつつあり、行政サービスでの活用も重要テーマとなっています。国や県とも協力してDX実現のために乗り越えるべき課題を把握し、行政の効率化を進めるとともに、市民の皆さまが日常において、便利さを実感することはもちろん、より豊かで健康に暮らせるよう、様々な新施策にチャレンジしてまいります。

令和8年度 予算規模

令和8年度の一般会計の予算規模は、当初予算学としては過去最大の1,467億4,000万円となり、令和7年度に比べ24億3,000万円、率にして1.7%の増額となりました。

一般会計と特別会計・企業会計を合わせた全会計では、2,868億2,000万円余となり、増額69億2,000万円余、率にして2.5%増と、近年の物価高騰などの影響もあり、全会計においても過去最大の予算規模となっております。



北部中学校、屋内運動場のエアコン設置

まず、一般会計は、民生費が社会保障給付などの増大により34億3,000万円余の増額、教育費では小学校給食費の抜本的な負担軽減、いわゆる給食無償化に係る学校給

食会への補助金や(仮称)第二共同調理場予定地の購入、中学校の屋内運動場空調整備事業などにより22億円余の増額となりました。その一方で減額となったものとして、衛生費が新保健所の完成などにより17億7,000万円余の減額、消防費が緊急通信指令システムの更新完

了により11億3,000万円余の減額となりました。歳入について、その柱となる市税は、令和7年度と比較して16億4,000万円、3.0%の増額となっております。過去最高額となる見込みです。また、国が示す地方財政計画により、普通交付税を9億円の増額となりました。

そのほか、地方特例交付金は、ガソリン暫定税率や自動車税などの環境性能割の廃止に伴う減収分の補填により3億4,000万円余の増額、国庫支出金は、社会保障給付の増大に伴う増額の一方で、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金が減額となったことに伴い、国全体では3億円余の減額です。県支出金は、いわゆる給食無償化に係る新たな補助金の創設により増額12億1,000万円余となりました。

なお、繰入金については、財政調整基金から43億円の繰入を計上。特別会計・企業会計の主なものとして、介護保険事業においては、介護サービス給付費の増大などにより12億7,000万円余の増額となりました。

今回の、常任委員会

経験を
力に変えて
有言実行



岡本 将嗣

MASASHI OKAMOTO



このニュースは、日常の議員活動や議会・市政の報告を目的として、話題となっている情報等をピックアップし、不定期に発行するものです。

発行所：岡本まさし事務所
住所：一宮市松降1-8-5
連絡先：0586-85-8034

HP <http://masashi-okamoto.com>

